職務経歴書

　　　　　　　　　　2022年10月31日現在

氏名 XX XX

**■職務要約**

前職のA社では、自社開発のパッケージソフトの開発に従事し、Javaを用いたプログラミング、小規模な開発チームのマネジメントを経験した。2015年以降はシステムの要件定義を始めとした上流工程の業務にも従事した。2017年に現職に転職して以降は、大手自動車メーカー向けのポータルサイト開発プロジェクトに参画し、ポータルサイトの基盤となるクラウド環境の構築に携わった。ポータルサイトの稼働後はクライアントに対して継続的なシステム改善提案を実施している。

**■活かせる経験・知識・技術**

・Javaを使ったシステムの設計、開発(プログラミング)

・Microsoft Azureを使ったクラウド環境の構築

・製造業における業務フローの理解

・小規模なチーム(3-4名程度)のマネジメント経験

・要件定義を始めとした上流工程の経験

・システムの改善提案

**■職務経歴**

2013年4月～現在　　A株式会社

事業内容： ソフトウェア、パッケージ製品の開発・販売

資本金：1千万円（2022年3月）　売上高：10億5千万円（2022年3月）

従業員数：800人　上場：未上場

2013年4月～2017年3月

【職務概要】

●2013年5月～2015年3月

＜主なプロジェクト＞

・中小企業向け生産管理パッケージの開発プロジェクト

＜開発環境＞

OS：Linux

DB：Oracle Database

開発言語：Java

＜職務の詳細＞

自社で販売する中小企業向け生産管理パッケージの機能追加に向けた開発メンバーとして。Java言語を用いたプログラミングに従事した。周囲のサポートを得ながらも約半年で1人月に相当するペースでコーディングが進められるようになり、2014年度からは小規模な開発チーム(メンバーは協力会社を含め3-4名程度)のリーダーを務め、自らも開発に携わりつつ、チームのマネジメントも行った。プロジェクトの途中では、バグの発生により進捗が思うようにいかない部分もあったが、チーム内での手順書整備、ノウハウ共有会の開催などを通じた品質改善の取り組みを行い、結果的に遅延なく開発を完了させた。

●2015年4月～2017年3月

＜主なプロジェクト＞

中小企業向け経理システムの要件定義・設計を担当

＜開発環境＞

OS：Windows 2000

DB：PostgreSQL

開発言語：Java

＜職務の詳細＞

先述した中小企業向け生産管理パッケージのプロジェクトで得た経験をより上流の工程でも生かしたいとの思いから、プロジェクトの異動を希望し、中小企業向けの経理システム開発プロジェクトに参画し、システムの要件定義と設計を担当する。上流工程では従来のシステム開発では意識していなかった、システム化の対象となる業務の流れについて深く理解することが求められ、最初の内は周知に質問しながら進める状況が続いた。自身でもクライアントについて深く調査して理解するなどの取り組みを行った結果、クライアントとの定例会でも質問に対してスムーズに回答できることが増え、クライアントからの信頼を徐々に勝ち取っていった。

2017年4月～現在　　B株式会社

事業内容： 製造業向け基幹システムの開発

資本金：1億円（2022年3月）　売上高：1,100億円（2022年3月）

従業員数：10,000人　上場：東証プライム上場

2017年4月～現在

●2017年4月～現在

＜主なプロジェクト＞

・大手自動車メーカー向けポータルサイトの設計・開発プロジェクト

＜開発環境＞

OS：Windows

DB：PostgreSQL

開発言語：Java

＜職務の詳細＞

より大きなクライアントを相手にしたいとの思いから現在の会社に転職し、大手自動車メーカー向けポータルサイトをクラウド上に構築するプロジェクトに参画した。当初の業務は前職の経験を活かしたJavaのプログラミングが中心であったが、人的リソース不足の問題から未経験であるクラウド環境構築の業務に従事した。当初は不慣れな点が多く、思うように進められないこともあったが、自己学習と有識者からの支援により、結果的には遅れることなくポータルサイトの土台となる環境を整備することができた。システム稼働後は、ポータルサイトをより使いやすくするための改善業務にも携わり、クライアントのニーズを把握した提案を数多く行った。

**■資格**

普通自動車第一種運転免許(2012年1月)

基本情報技術者(2014年9月取得)

TOEIC 750点(2021年6月取得)

**■自己PR**

達成したいゴールから逆算した目標設定を行い、緻密にプロジェクトを進めていくことに強みがあります。目標達成の過程で予期せぬ事態が発生した際も、周囲との丁寧なコミュニケーションをとりつつ、的確に課題を把握し迅速な軌道修正を図ることができます。また、現職で従来から得意としていたJavaを用いたプログラミング、システム設計に加えて、クラウド上での開発環境の構築に携わったことにより、システムインフラについての知見も身につきました。このように複数の分野を横断的に経験したことにより、技術者としてのみならず複数のチームの橋渡しとして、プロジェクト推進を円滑に進めることができると考えております。さらに、継続的なシステム改善提案を続ける中で、論理的かつわかりやすいプレゼンテーションを心がけ、実際に多くの提案を受け入れていただくことができました。